

(様式2(1))

事業所名 グループホームレラティブ別府

作成日: 令和 6年 6月 23日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	8	成年後見制度に対する職員の理解度について。 実際に制度を利用している入居者がおられるが、その制度や内容については、業務中に必要に応じて職員に説明しているため、職員によってその理解度にばらつきがある。	職員によって理解度にばらつきがある状態を是正する。	次回の虐待防止研修(令和6年10月)の際に、高齢者の権利擁護の項目で成年後見制度について掘り下げて学習する。	4ヶ月
2	4	運営推進会議について。 以前より地域からの参加が困難であり、また、コロナ禍の書面開催以降、対面開催が再開しても利用者の参加ができていない。	地域住民からの参加を図る。 利用者の参加を図る。	周辺住民・自治会に対して運営推進会議への参加を働きかける。 利用者のその日の体調等を考慮しながら、可能な方には参加していただき意見を募る。	6ヶ月
3	35	消防・防災訓練の結果報告について。 これまでは実施内容の記録や写真を作成しファイルするだけだったため、当日参加できていない職員に訓練の様子が共有できていなかった。	職員全員に訓練の記録を回覧し、当日の様子や今後の課題も含めて施設全体で共有する。	「自衛消防災害時訓練結果報告書」を作成後、職員全員に回覧し、全員が閲覧済みサインをしたことを確認してからファイルに保管する。	8ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。